落合中だより

真庭市立落合中学校
≪校訓≫ 明るく・楽しく・美しく
令和8年11月６日発行　No.10

＊ 深まる秋、それぞれの学年行事で頑張っています。＊

〇生徒会役員選挙（これからの落合中を引っ張っていきます。）





１０月６日に生徒会執行部、１９日に専門委員長選挙が行われ、新しい生徒会役員が選出されました。立合演説会では候補者それぞれが自分の言葉で「もっと良い学校にしていきたい」という思いを「校則の見直し」や「地域への貢献」等の具体的な取り組みを交えながら、一生懸命に訴えました。真剣な横顔から落合中学校を引っ張っていこうとするやる気と意欲が感じられ、頼もしく思いました。当選した役員の皆さん、リーダシップを発揮し組織を動かしながら学校をどんどん盛り上げていってください。また、役員でない皆さんも選んだ者の責任として、しっかりと支え協力していきましょう。

〇２年チャレンジワーク（たくさんの学びがありました）

１０月２１日から３日間、２年生が職場体験学習（チャレンジワーク）を行いました。総合的な学習の時間を利用し、キャリア教育（進路学習）の一環で毎年行っているものです。ねらいは、「体験を通して働くことの喜びや厳しさを知り、自分の適性を見つめる機会にして進路選択に役立てる」ことです。落合地区を中心に４２の事業所（会社、学校、保育園、福祉施設等）に分かれて行きました。最初は緊張気味でしたがだんだんと慣れてきて、次第に自分から積極的に取り組める人が増えてきたようです。実際に大人に混じって仕事をすることで、自分も社会の一員であり、お互いに支え合いながら世の中が成り立っていることを学んだのではないでしょうか。この経験は、将来必ず役に立つと思います。また、あいさつやマナー、時間を守ること等の普段の学校生活にも当てはまることは、今後の学習や生活に生かしていってください。お忙しい中、受け入れをしてくださった事業所の皆様、大変ありがとうございました。








〇性教育講演会



１０月中旬から下旬にかけて、各学年で性教育講演会を聴きました。性教育は恥ずかしいというイメージを持つ人も中にはいるかもしれませんが、「性」という文字は「心」と「生」の二文字からできていて、人としての生き方や心のあり方を学ぶ大切な授業です。これから先の人生で、正しい判断をしなくてはならない時に、正しい知識を持っているかどうかで判断内容が変わるかも知れません。今回の講演内容はそういう時の判断材料になる内容でした。

３年　デイジーライフ　看護師・看取り士　鳥越千裕さん　「正しい知識は自分を守る　～ミライに繋がる自分のカラダ～」
２年　ウィメンズクリニックかみむら　院長　上村茂仁さん「正義の反対は、もう一つの正義かもしれない」
１年　with your life/Life is 助産師　東海林みゆきさん　「大切ないのち、大切な自分」

〇赤ちゃんふれあい体験





１０月２６日・２７日、３年生が「命の大切さを学ぶ体験講座」（赤ちゃんふれあい体験）を学習しました。落合地区の愛育委員さん、栄養委員さん、保健師さん、サポートあいの皆さんが開いてくださった講座で、妊婦モデル体験や赤ちゃん人形の世話体験をさせてもらいました。また、実際に子育て中のお母さんが赤ちゃんを連れてきてくださり、ふれあうことができました。１歳前後の赤ちゃんはとても愛らしく、たどたどしい手つきで抱いている生徒の顔も自然と優しい表情になっていました。とても貴重な体験になりました。